

# 4年間の学びとカリキュラム

医療科学部 作業療法学科	<b>1年次</b> 学びの根幹と医療人の基礎を構築 グローバル化・情報化する社会と人について理解を深めるために、外国語科目、芸術・体育科目、人間形成科目など50科目以上の中から選択し、社会人として、医療人として必要な豊かな教養を養います。また、医学と作業療法の基礎を学修し、主体性や学びの根幹をつくります。	<b>2年次</b> 病と人を理解し、作業療法の基本を修得 病気を理解し、対象者の生活のしづらさを理解するために臨床医学や作業療法評価を学修します。そうした知識・技術をもとに、対象者の生活をもう一度輝かせるための生活支援技術の基本を修得します。	<b>3年次</b> チーム医療と作業療法の実践 他学科や他学部の学生と連携して学ぶことで、医療現場での実践的な問題解決能力を養います。さらに2年次に学修したことを応用し、対象者の個別性に合わせた作業療法を学ぶことで、臨床現場で実践できる力を養います。	<b>4年次</b> 実習で養う実践力と新しい作業療法の探究 教員が全面的にサポートする学外実習を通して、今まで学修した知識・技術を統合し、一生使える実践力を身につけます。また、少人数のゼミナール活動を通して、仲間達と一緒に新しい医療・福祉の可能性を探究し、課題解決するための力を身につけます。
	<b>基礎関連学科</b> (医療科学部共通科目) ■基礎生物学 ■情報処理概論 ■基礎統計処理 ■口腔健康管理学	■ライフステージ栄養学I	■緩和ケア論 ■災害看護論	
	<b>作業療法学科</b> 基礎科目 ■基礎ゼミナール	■リハビリテーション医学 ■教育学	■健康増進とリハビリテーション ■女性の健康	■教育方法論
	<b>専門基礎分野科目</b> [人体の構造と機能及び心身の発達] ■解剖学I・II ■生理学I・II ■人間発達学 ■基礎運動学 ■臨床心理学 [疫学と障がいの成り立ち及び回復過程の促進] ■臨床医学概論 ■病理・感染学 [保健医療福祉とリハビリテーションの理念] ■リハビリテーション概論 ■生命倫理学	[人体の構造と機能及び心身の発達] ■解剖学実習 ■生理学実習 ■基礎運動学演習 [疫学と障がいの成り立ち及び回復過程の促進] ■整形外科学 ■神経内科学 ■老年医学 ■精神医学 ■内科学 ■小児科学 [保健医療福祉とリハビリテーションの理念] ■公衆衛生学	[疫病と障がいの成り立ち及び回復過程の促進] ■臨床検査診断概論 ■臨床栄養学I ■災害医療 [保健医療福祉とリハビリテーションの理念] ■チーム医療連携論 ■保健医療福祉制度	
<b>作業療法</b> 専門部門科目 [基礎作業療法学] ■作業療法学概論 ■基礎作業療法学 [臨床実習] ■臨床実習I(見学実習)	[作業療法評価学] ■作業療法評価学 ■作業療法評価学演習I ■作業療法評価学演習II ■作業療法評価学演習III ■作業療法動作分析学演習 [作業療法治療学] ■精神障害作業療法学 ■発達障害作業療法学 ■老年期作業療法学 <b>授業Pick up ②</b> ■高次脳機能障害作業療法学 ■日常生活活動学 ■日常生活活動学演習 <b>授業Pick up ①</b> ■作業療法治療学特論I(学校・仕事) ■地域作業療法学 ■地域作業療法学演習 [臨床実習] ■臨床実習II(地域実習)	[基礎作業療法学] ■基礎作業療法学演習 ■研究法概論 ■研究法演習 [作業療法管理学] ■作業療法管理学 [作業療法評価学] ■作業療法学総合演習I・II [作業療法治療学] ■身体障害作業療法学I・II ■身体障害作業療法学演習 ■義肢装具学 ■義肢装具学演習 ■精神障害作業療法学演習 <b>授業Pick up ③</b> ■発達障害作業療法学演習 ■高次脳機能障害作業療法学演習 <b>授業Pick up ④</b> ■作業療法治療学特論II(生活・環境) ■作業療法治療学特論III(内部疾患) [地域作業療法学] ■予防的作業療法学 <b>授業Pick up ⑤</b> [臨床実習] ■臨床実習III(評価実習)	[基礎作業療法学] ■卒業研究 [作業療法治療学] ■作業療法学セミナー [臨床実習] ■臨床実習M(総合実習) ■臨床実習V(総合実習)	

※全学共通科目は除きます。

■は本学の特徴的な科目です。■は卒業必須科目、■は選択科目。カリキュラムは変更する場合があります。

## 授業Pick up

### ① 日常生活活動学演習



日常生活活動の自立支援や福祉用具の活用と応用の仕方を学びます。

日常生活活動の維持・向上の支援に必要な体の使い方や介助の指導方法、福祉用具の活用方法や生活環境の調整について具体的な事例を通して身につけます。

### ② 老年期作業療法学



高齢者の生きづらさを理解し、高齢になっても素直にしあわせに生きられる支援を学びます。

人生の集大成の時期である老年期を輝かせるために、高齢や認知症になっても最期まで笑顔で、社会の中で暮らし続けることができるように作業療法士は介入します。この科目では、視覚教材や体験を通じて、老年期特有の病気や障害を理解し、個性の高い老年期の作業療法の知識と技術を身につけます。

### ③ 精神障害作業療法学演習



こころとからだの状態を理解し、こころの病気を抱える人が再び「私らしく」生活するための支援を学びます。

自己の特性を発見し、これまでの経験や自分の強みを治療に生かすことができるのが精神障害の作業療法です。心理検査などを使って患者さんのこころを理解し、病気によって失われたその人らしい生活や作業を再建する知識や技術を、演習で身につけます。

### ④ 高次脳機能障害作業療法学演習



外観から分からない高次脳機能障害の作業療法支援を学びます。

脳機能の低下によって生じる記憶、注意、思考力低下などの評価方法について、検査を用いて実践的に学び、作業療法による自立支援の方法を具体的に検討し、応用力を身につけます。

### ⑤ 予防的作業療法学



作業療法の強みである作業活動による介護予防・認知症予防を学びます。

地域で暮らす高齢者の作業活動と心理社会面や健康との関連を学び、健康寿命延伸につながる介護予防・認知症予防について作業療法独特の作業活動に着目した支援を身につけます。

## 教員紹介

- 竹田 徳則教授 / 高齢者健康支援学
- 西本 裕教授 / 整形外科・パラスポーツ
- 中西 康祐准教授 / 認知症高齢者の生活支援
- 山鹿 隆義准教授 / 身体障害領域の作業療法
- 山下 英美講師 / 地域作業療法学
- 池谷 政直助教 / 精神障害領域の作業療法
- 伊藤 真美助手 / 地域リハビリテーション
- 長谷川 文助 / リハビリテーション科学